

列車事故対応訓練①

琴平電気鉄道仏生山工場にて、列車事故発生時（人身事故等）の救助方法について、訓練が実施されました。当該訓練は毎年行われており、訓練を経験した職員も複数いますが、初めて訓練に参加する職員もいます。多数傷病者の発生危険が高いこれらの災害は特に、出場する隊員全員の意識の統一・技術の向上が求められます。救助する際に、必ず実施しないといけないこと、また、実施・触ってはいけないものを「見て・聞いて・取り扱って」一人ひとりが、確認しました。

普段接触することのできない電車の実機を使った重量物昇降訓練は、資機材の取り扱い訓練としても、大変意義のあるものでした。

1. 資機材が無い場合や、空間が無いときには穴を掘ることで空間を確保することで救助します。
2. 琴電担当者より、電車の構造に対する指導を受けています。



2. 重量物を排除する資機材を、電車に設定して昇降状況を確認しています。周囲の状況を確認しながら、負傷者を助けるうえで、二次災害防止（隊員が受傷しないこと）に留意して訓練に臨んでいます。

